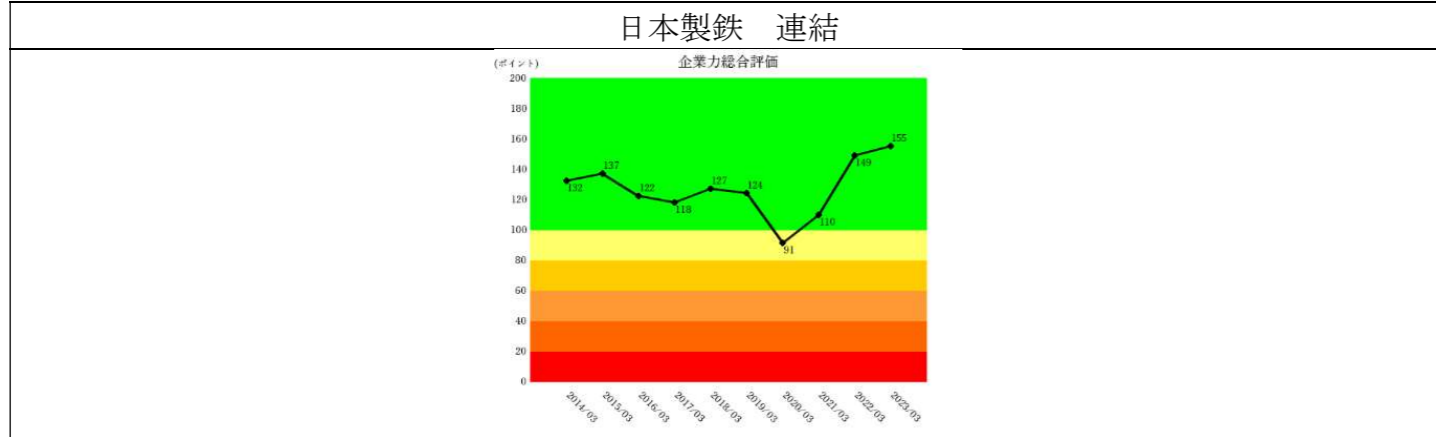
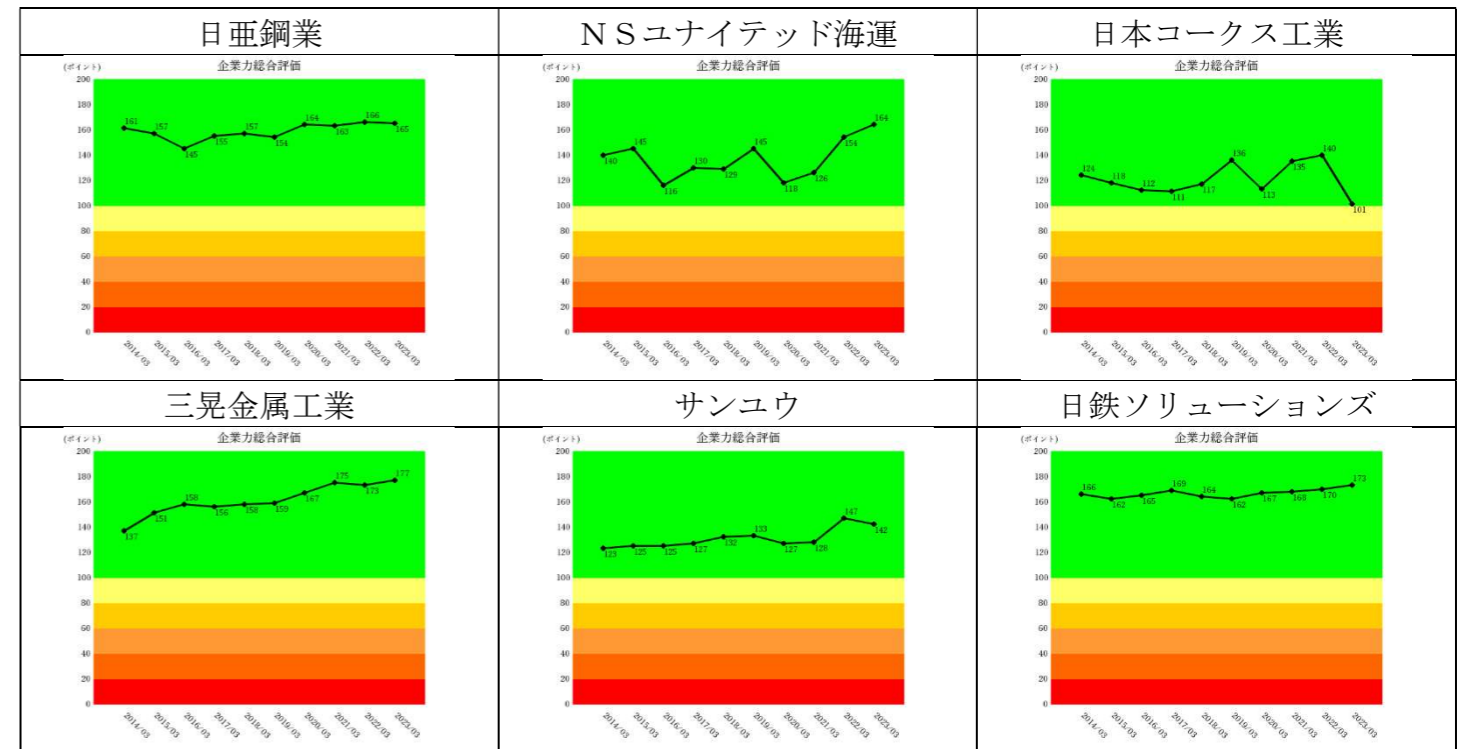
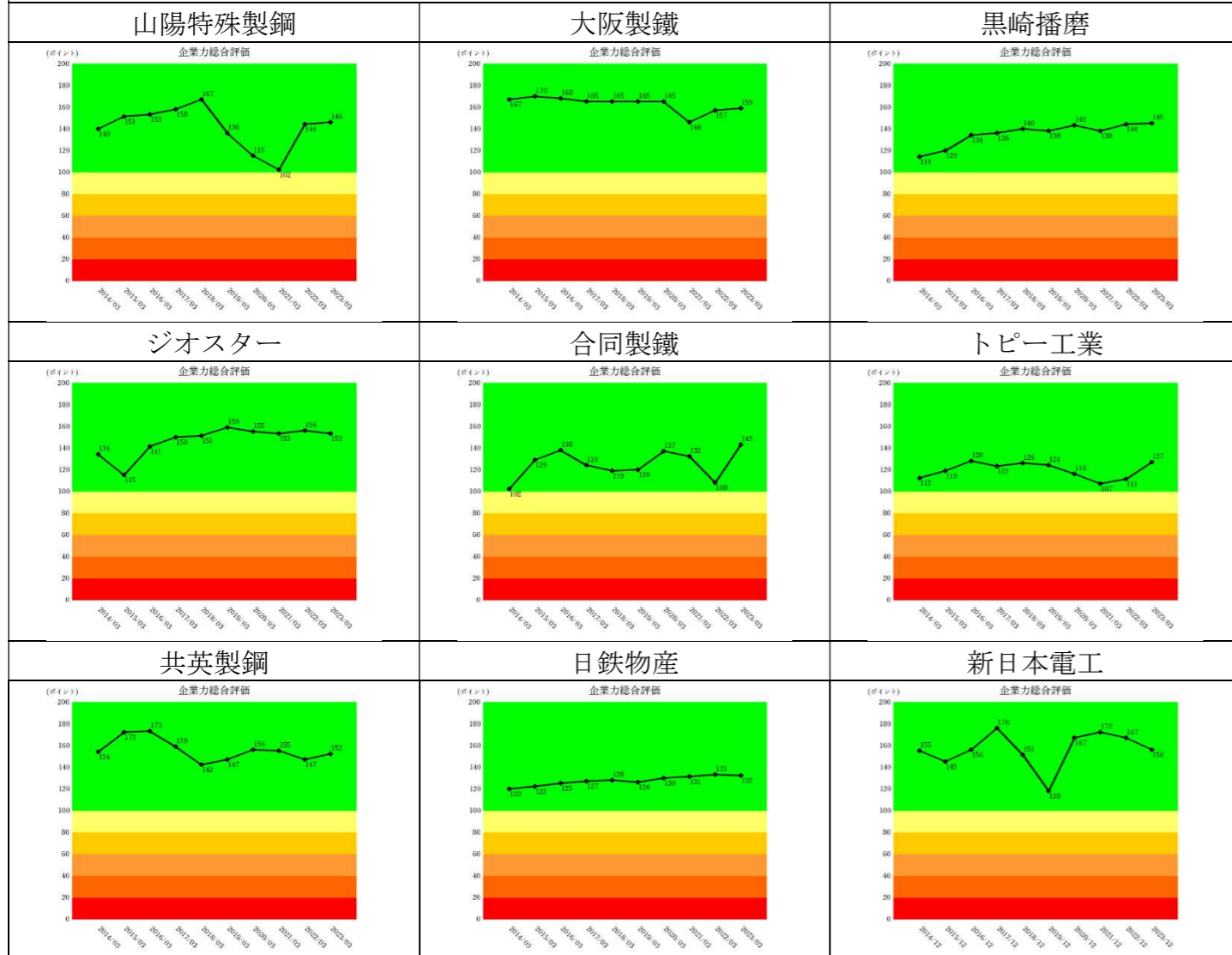


US スチール買収で揺れている日本製鉄株式会社を取り上げました。US スチールは創業 122 年、米国で大規模なコングロマリットの先駆けの一つであり、繁栄の象徴でもあった同社が外国のものになるという心理的反発もあるのでしょうか。

2014～2023 年 3 月期までの連結もしくは個別財務諸表を診断してみました。



以下は日本製鉄の子会社・関連会社群（連結もしくは個別財務諸表を診断）



上記は日本製鉄・連結の企業力総合評価と、子会社・関連会社 12 社の同診断です。日本製鉄は 2020 年かなり悪化し黄信号領域に突入しましたが翌期改善し 2023 年には 155 ポイントと過去最高評価を付けました。

日本製鉄は連結売上高が 6,808,890 百万円と規模が大きく、360 社の連結子会社並びに 97 社の持分法適用関連会社があり、そのうち 12 社が上場企業です。こうして子会社・関連会社の企業力総合評価を並べてみると殆ど経営状況は良く、右肩上がりです。2020 年の日本製鉄・連結の悪化は親会社である日本製鉄自身の経営状況が悪かったのではないかと思います（日本製鉄・個別材諸表の企業力総合評価は示しません）。ざっくりした見方ですが、日本製鉄はグループ会社経営を上手くやっており、US スチールが日本製鉄の子会社になることに問題はなさそうです。

US スチールが日本企業に買収されることに対する反対意見は、  
 (1) 米国を代表する企業が外国企業のものになる情緒的な反感  
 (2) 労働者の権利が侵害されるのではないかと不安  
 (3) それら意見を持つ人達へのバイデン大統領の政治的思惑  
 の 3 つにあるのではないのでしょうか。(1) については、創業 244 年のタケダ薬品工業の取締役の半数以上が外国人を占めていますし、(2) については労働者の権利ももちろん大事ですが、経営状況が悪く潰れてしまえばみんな解雇、(3) についてはもう知りません！ではないのでしょうか。

**まとめ**  
 企業は人々を乗せて進む船。無事航海ができること、皆が幸せに暮らせるような判断が求められるのではないのでしょうか。

**編集後記** マレーシア・クアラルンプールに行ってきました。ペトロナスツインタワーはあべのハルカスがあるし興味はありませんでしたが、実際行って見ると、美しさに圧倒されました。もう発展途上国とは言えませんでした。  
 (^^) 文責 JY